

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		Ⅱ 基本姿勢	Ⅱ 基本姿勢	
1～2	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正	(1)「総合戦略」の位置づけ ・ 県政の運営指針である「新未来『創造』とくしま行動計画(H27～H30年度)」との整合を十分に図り、「ひと」と「しごと」の好循環により「とくしま回帰」を加速させ、「まち」の活性化につなげる「地方創生」関連施策に重点化した創造的実行型の「総合戦略」とする。	(1)「総合戦略」の位置づけ ・ 県政の運営指針である「 <u>『未知への挑戦』とくしま行動計画(2019年度～2022年度)</u> との整合を十分に図り、「ひと」と「しごと」の好循環により「とくしま回帰」を加速させ、「まち」の活性化につなげる「地方創生」関連施策に重点化した創造的実行型の「総合戦略」とする。	政策
	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正	(2)「総合戦略」の推進 ・ 「エシカル消費」をはじめ、多岐にわたる取組内容を含む「持続可能な開発目標(SDGs)」は、地方創生の実現に資するものであることを踏まえ、「総合戦略」の施策はSDGsの要素を反映したものとする。 (追加)	(2)「総合戦略」の推進 ・ 「エシカル消費」をはじめ、多岐にわたる取組内容を含む「持続可能な開発目標(SDGs)」は、地方創生の実現に資するものであることを踏まえ、「総合戦略」の施策はSDGsの要素を反映したものと、 <u>地域における自立的好循環や持続可能なまちづくりを目指した取組みを推進する。</u> ・ 「 <u>全国屈指の光ブロードバンド環境</u> 」による情報通信関連の人材や企業の集積など徳島の強みを最大限に活用し、次世代通信システムである「5G」や「AI・IoT・ビッグデータ」といった未来技術を活用した Society 5.0の実現により、 <u>経済的発展と社会課題の解決を両立し、快適で活力に満ちた質の高い生活を</u> 目指す。	
	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正	(3) 検証と改善(「PDCAサイクル」の構築) ・ 効果検証と改善見直しを外部有識者の参画により、実施する。	(3) 検証と改善(「PDCAサイクル」の構築) ・ 効果検証と改善見直しを外部有識者の参画により、実施する。 <u>(新たな「総合戦略」策定に向けた、総合的な効果検証も実施。)</u>	

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
7～8	<p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>②多様な人材環流</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■とくしまジョブステーションに相談のあった求職者の就職率：40.0%（35.1%） ■プロフェッショナル人材戦略拠点における成約件数：15件（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とくしまジョブステーション運営費（H29当初、H30当初） ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業（H30当初） ・「ゆかりの徳島」回帰推進事業（H29当初、H30当初） ・プロフェッショナル人材確保支援費（H29当初、H30当初） ・おかえり！とくしま支援事業（H30当初） 	<p>②多様な人材環流</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「とくしまジョブステーション」及び「すだちくんハローワーク」の支援による就職率：45.0%（－） ■プロフェッショナル人材戦略拠点における成約件数：30件（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とくしまジョブステーション運営費（H29当初、H30当初、R1当初） ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業（H30当初、R1当初） ・「ゆかりの徳島」回帰推進事業（H29当初、H30当初、R1当初） ・プロフェッショナル人材確保支援費（H29当初、H30当初、R1当初） ・おかえり！とくしま支援事業（H30当初、R1当初） 	保福商工
8～10	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>③農林水産業にチャレンジする新規就業者の拡大</p> <p><農業></p> <p>（追加）</p> <p><水産業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う漁業者の育成・確保を図るため、「徳島県漁業人材育成プログラム」に基づく研修や実習を実施するとともに、新規就業者の定着を支援する漁協への助成を行う事業を国に先駆けて実施する。 ・「とくしま漁業就業マッチングセンター」を開設し、就業希望者と漁協とのマッチングを集中的に行うとともに、誰もが漁業を学ぶことができる「とくしま漁業アカデミー」を平成29年度に開講し、漁業の現場で活躍出来る即戦力となる人材を育成する。 <p>（追加）</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■農業系大学生等によるインターンシップ参加者数（5か年の累計）：650人（106人） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材確保・育成事業（H29当初、H30当初） ・とくしま林業アカデミー事業（H29当初、H30当初） ・次代を担う農業人材・経営体育成事業（H29当初、H30当初） ・農業人材力強化総合支援事業（H29当初、H30当初） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加） 	<p>③農林水産業にチャレンジする新規就業者の拡大</p> <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんきつ類の生産振興を核とした中山間地域の活性化を図るため、関係機関と連携し、平成30年度に開講した、栽培から加工・流通に至る一貫した技術を学ぶことができる「徳島かんきつアカデミー」により実践力の高いかんきつ人材を育成する。 <p><水産業></p> <p>（削除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とくしま漁業就業マッチングセンター」を活用し、就業希望者と漁協とのマッチングを集中的に行うとともに、誰もが漁業を学ぶことができる「とくしま漁業アカデミー」を核に、漁業の現場で活躍出来る即戦力となる人材を育成する。 ・次代を担う漁業者を養成するため、「とくしま漁業アカデミー」卒業生の早期独立を促すアフターフォローや就業間もない漁業者の経営安定化に向けた支援等を行う。 <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■農業系大学生等によるインターンシップ参加者数（年間）：180人（106人） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材確保・育成事業（H29当初、H30当初、R1当初） ・とくしま林業アカデミー事業（H29当初、H30当初、R1当初） ・次代を担う農業人材・経営体育成事業（H29当初、H30当初、R1当初） ・農業人材力強化総合支援事業（H29当初、H30当初、R1当初） ・里山の「宝」を再発見！カンキツ人材育成拠点整備事業（H30.2月補正） ・来たれアクティブシニア植林隊事業（R1.6月補正予定） ・主伐時代の経営体育成事業（R1.6月補正予定） ・とくしま林業リカレント支援事業（R1.6月補正予定） ・集まれ！山の学舎フォレストキャンパス事業（R1当初） ・人づくり革命・漁業リカレント事業（R1当初、R1.6月補正予定） ・とくしま漁業アカデミー運営事業（R1当初） ・徳島の農業人拡大応援事業（R1当初） ・「とくしま農林水産未来人材スクール」開設準備事業（R1.6月補正予定） ・海部の“地から”魅力ある農業展開支援事業（R1当初、R1.6月補正予定） ・人を育み、稔りを生む阿南・那賀モデル「農の里」づくり事業（R1当初） 	農林南部

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		【基本目標1】新しい人の流れづくり (イ)「とくしま回帰」を呼び込む拠点機能の強化	【基本目標1】新しい人の流れづくり (イ)「とくしま回帰」を呼び込む拠点機能の強化	
10	主な重要業績評価指標 (KPI) の修正 (具体的な事業) を追加	① 企業の本社機能の誘致 主な重要業績評価指標 (KPI) ■本県への本社機能誘致数：5社(－) (具体的な事業) ・企業立地促進事業費補助金 (H29当初、H30当初) ・戦略的企業誘致強化事業 (H29当初、H30当初)	① 企業の本社機能の誘致 主な重要業績評価指標 (KPI) ■本県への本社機能誘致数 <u>(5か年の累計)：8社(－)</u> (具体的な事業) ・企業立地促進事業費補助金 (H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u>) ・戦略的企業誘致強化事業 (H29当初、H30当初、 <u>R1当初、R1.6月補正予定</u>)	商工
10 ～ 11	主な重要業績評価指標 (KPI) の修正 (具体的な事業) を追加	② 政府関係機関の地方移転を推進 主な重要業績評価指標 (KPI) (追加) (具体的な事業) (追加) (追加)	② 政府関係機関の地方移転を推進 主な重要業績評価指標 (KPI) ■ <u>「G20消費者政策国際会合」の徳島開催：R1開催</u> (具体的な事業) ・ <u>新次元の消費者行政・消費者教育実装促進事業 (R1当初)</u> ・ <u>「新未来の消費者行政・実装フィールドへ！」本社機能移転促進事業 (R1当初)</u>	危機 政策
11 ～ 12	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標 (KPI) の修正 (具体的な事業) を追加	③ サテライトオフィスのさらなる展開 ・「都市部におけるフェアの開催」をはじめ、サテライトオフィスと就職希望者とのマッチングに向けた新たな取組みや、進出企業による地域の小中学校への「出前授業」及びオフィスに大学生を招く「職場体験」を実施する。 ・職員の「県民目線・現場主義」を徹底し、「創造力・実行力・発信力」に優れた人材を育成するため、地方創生の最前線の現場に「とくしま新未来『創造』オフィス」を設置し、現場の多様で多様な人材と交流・連携しながら、実践型の職員研修を実施する。 ・全国をリードするサテライトオフィスプロジェクトのさらなる進化に向けて、「海外企業も視野に入れた誘致活動」、「オフィスの定着や本社機能移転などの拠点化の推進」、「国のテレワーク実証実験の誘致」により、新次元の展開を図る。 主な重要業績評価指標 (KPI) ■サテライトオフィス進出地域の拡大：市町村の半数 (4市町) (具体的な事業) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加)	③ サテライトオフィスのさらなる展開 <u>(削除)</u> ・職員の「県民目線・現場主義」を徹底し、「創造力・実行力・発信力」に優れた人材を育成するため、地方創生の最前線の現場 <u>である</u> 「とくしま新未来『創造』オフィス」 <u>において</u> 、現場の多様で多様な人材と交流・連携しながら、実践型の職員研修を実施する。 ・ <u>県内各地に開設される「コワーキングスペース」を核として、SDG sの成功モデルを徳島の強みとして活かしながら、新規事業やビジネス・新たなネットワークを生み出す環境づくりを進め、SDG sという新たな切り口で「人材とビジネス」を獲得し、持続可能な地域づくりに繋がる好循環を創出する。</u> 主な重要業績評価指標 (KPI) ■ <u>コワーキングスペース利用者数の拡大：1,900人 (H29：1,500人)</u> (具体的な事業) ・ <u>働き方・ビジネスを変える！とくしまワーク新次元展開事業 (R1当初)</u> ・ <u>SDG s最前線！イノベーション創出事業 (R1.6月補正予定)</u> ・ <u>集落再生「とくしまモデル」魅力発信事業 (R1当初)</u> ・ <u>未知への挑戦！「とくしま回帰」交付金 (R1.6月補正予定)</u> ・ <u>「四国の右下」サテライトオフィス映画“みてみるけ”事業 (H30.6月補正)</u> ・ <u>みなみで総活躍！まち・ひと・しごと次代継事業 (R1当初、R1.6月補正予定)</u>	政策 経営 南部

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修 正 前	修 正 後	部局
		【基本目標1】新しい人の流れづくり (ウ) 若者の「とくしま回帰」を生み出す大学等の活性化	【基本目標1】新しい人の流れづくり (ウ) 若者の「とくしま回帰」を生み出す大学等の活性化	
12 ～ 13	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標 (KPI) の修正 (具体的な事業)を追加	①大学と地域の連携による「知のフィールド」の拡大 ・ 地方創生を担う人材を育成するため、県内高等教育機関と連携して、地域の課題解決や活性化に向けた「地域連携フィールドワーク講座」の開講や、ボランティア活動を大学の単位として認める「ボランティアパスポート」の拡充に取り組む。 (追加) 主な重要業績評価指標 (KPI) (追加) ■大学サテライトオフィス設置箇所数：15箇所 (3箇所) (具体的な事業) ・ 大学連携・地域人材育成事業 (H30当初) (追加) (追加) (追加)	①大学と地域の連携による「知のフィールド」の拡大 ・ 地方創生を担う人材を育成するため、県内高等教育機関と連携して、地域の課題解決や活性化に向けた「地域連携フィールドワーク講座」の開講や、ボランティア活動を大学の単位として認める「ボランティアパスポート」の更なる充実に取り組む。 <u>徳島大学において最先端の光科学研究を行う「ポストLEDフォトリクス研究所」を設置し、新たな光(次世代LED)の研究・開発を行うとともに、光応用専門人材の育成を推進する。</u> 主な重要業績評価指標 (KPI) ■大学組織改革の実現： <u>H30 ポストLEDフォトリクス研究所の設置</u> <u>R1 研究・開発の推進(トップレベル研究者招へい)</u> ■大学等サテライトオフィス設置箇所数： <u>18</u> 箇所 (3箇所) (具体的な事業) ・ 大学連携・地域人材育成事業 (H30当初、R1当初) <u>・ 地方大学・地域産業創生事業 (H30.9月補正、H30.11月補正、R1当初)</u> <u>・ とくしま産学官連携プラットフォーム形成推進事業 (R1.6月補正予定)</u> <u>・ 留学生県内定着促進事業 (R1当初)</u>	政策 商工
13	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標 (KPI) の修正 (具体的な事業)を追加	②若者の地元定着促進 ・ 若者の地元定着を促進するとともに、産業人材の確保による雇用創出を図るため、経済団体や企業等と連携して、大学生等を対象にした「徳島県奨学金返還支援制度」を平成27年度に創設し、県内企業に一定期間就業した際に奨学金の返還を支援する。 主な重要業績評価指標 (KPI) ■県内大学生等の県内就職率：50.0%以上 (44.5%) ■奨学金返還支援制度(全国枠)の助成候補者認定数：100人 (-) (追加) (具体的な事業) ・ 「とくしま回帰」加速・産業人材支援事業 (H29当初、H30当初) ・ 地方創生インターンシップ推進事業 (H29当初、H30当初)	②若者の地元定着促進 ・ 若者の地元定着を促進するとともに、産業人材の確保による雇用創出を図るため、経済団体や企業等と連携して、大学生等を対象にした「徳島県奨学金返還支援制度」を運用し、県内企業に一定期間就業した際に奨学金の返還を支援する。 主な重要業績評価指標 (KPI) ■ <u>奨学金返還支援制度を活用した県内就職者数：130人 (H29:124人)</u> <u>(削除)</u> ■ <u>プラットフォームを核として実施する事業数：8件 (-)</u> (具体的な事業) ・ 「とくしま回帰」加速・産業人材支援事業 (H29当初、H30当初、R1当初) ・ 地方創生インターンシップ推進事業 (H29当初、H30当初、R1当初)	政策 商工

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		【基本目標2】地域における仕事づくり	【基本目標2】地域における仕事づくり	
14	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正	<p>《基本的方向》</p> <p>※2018年開催予定「ウェイクボード世界選手権大会2018」 2019年開催予定「ラグビーワールドカップ2019」 2020年開催予定「東京オリンピック・パラリンピック」 2021年開催予定「ワールドマスターズゲームズ2021関西」 (追加)</p>	<p>《基本的方向》</p> <p>※2018年開催「ウェイクボード世界選手権大会2018」 2019年開催予定「ラグビーワールドカップ2019」 2020年開催予定「東京オリンピック・パラリンピック」 2021年開催予定「ワールドマスターズゲームズ2021関西」 <u>2025年開催予定「2025日本国際博覧会(大阪・関西万博)」</u></p>	商工
		【基本目標2】地域における仕事づくり (ア) 地域産業の未来に向けた競争力の強化	【基本目標2】地域における仕事づくり (ア) 地域産業の未来に向けた競争力の強化	
14 ～ 16	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正	<p>④「2つの光+α」がリードする地域イノベーションの加速</p> <p>・「全国屈指の光ブロードバンド環境」を活かし、スーパーハイビジョン(4K8K)を核とした新たな産業集積に向け、全国初となる「4Kアワード」を平成27年度から開催するほか、全国に先駆けた「4Kエリア試験放送」の実施、芸術性の高い「次世代プロジェクトマッピング」の制作や「4Kライブ中継」などにより、「4K先進地・徳島」を加速させる。また、大鳴門橋架橋記念館を改修し、4K映像を上映できる「360度4Kシアター」等を整備する。</p> <p>(追加)</p> <p>・「徳島県LEDバレイ構想・ワールドステージ行動計画」に基づき、LED応用製品の「海外市場への展開」やLEDの「新用途開発」を重点戦略として推進し、「LEDバレイ徳島」の世界展開を目指す。</p> <p>(追加)</p> <p>主な重要業績評価指標(KPI)の修正</p> <p>■クリエイティブ関連企業数：260社(者)(161社(者)) (追加) (追加)</p> <p>■「とくしま高機能素材活用コンソーシアム」の参画機関数：65機関 (H28：50機関)</p> <p>■LED新製品開発支援件数(累計)：175件(52件) (追加) (追加)</p> <p>(具体的な事業)を追加</p> <p>・情報通信関連事業立地促進費補助金(H29当初、H30当初)</p> <p>・LED応用製品普及加速化事業(H29当初、H30当初)</p> <p>・徳島型ヘルスケア産業創出モデル事業(H29当初、H30当初)</p>	<p>④「2つの光+α」がリードする地域イノベーションの加速</p> <p>・「全国屈指の光ブロードバンド環境」を活かし、スーパーハイビジョン(4K8K)を核とした新たな産業集積に向け、全国初となる「4Kアワード」を平成27年度から開催するほか、全国に先駆けた「4Kエリア試験放送」の実施、芸術性の高い「次世代プロジェクトマッピング」の制作や「4Kライブ中継」の実施、「4K・VR映画祭」の開催などにより、「4K・VR先進地・徳島」を加速させる。また、大鳴門橋架橋記念館を改修し、4K映像を上映できる「360度4Kシアター」等を整備する。</p> <p>・「とくしまインダストリー4.0」を実現するため、産学官連携組織「とくしまIoT等推進ネットワーク」、データ基盤「とくしまIoTプラットフォーム」を活用し、効率的・効果的なデータの利活用や多様な主体が知恵を出し合い新たなソリューションを創出する等を行う。</p> <p>・「LEDバレイ構想」にに基づき、LED応用製品の「海外市場への展開」やLEDの「新用途開発」を推進するとともに、「次世代LED」による新たな光関連産業の創出と集積拠点の形成を目指す。</p> <p>・新たな光(次世代LED)を活用した新製品を開発し、県内の光関連産業の活性化を図ることで雇用創出を推進する。</p> <p>主な重要業績評価指標(KPI)</p> <p>■クリエイティブ関連企業数：270社(者)(161社(者))</p> <p>■とくしまIoT等推進ネットワーク会員数(累計)：70者(一)</p> <p>■とくしまIoTプラットフォーム活用事例数(累計)：20件(一)</p> <p>■「とくしま高機能素材活用コンソーシアム」の参画機関数：75機関 (H28：50機関)</p> <p>■LED新製品開発支援件数(累計)：200件(52件)</p> <p>■光関連産業の製造品出荷額等の増加額：4,630億円(H29：4,500億円)</p> <p>■光関連産業の雇用者数の増加数：12,000人(H29：11,200人)</p> <p>(具体的な事業)</p> <p>・情報通信関連事業立地促進費補助金(H29当初、H30当初、R1当初)</p> <p>・LED応用製品普及加速化事業(H29当初、H30当初、R1当初)</p> <p>・徳島型ヘルスケア産業創出モデル事業(H29当初、H30当初、R1当初)</p>	政策 商工

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
16 ～ 17	(具体的な事業)を追加	<ul style="list-style-type: none"> ・とくしま新未来雇用創造プロジェクト (H29当初、H30当初) ・企業立地促進事業費補助金 (H29当初、H30当初) ・戦略的企業誘致強化事業 (H29当初、H30当初) ・ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金 (H29当初、H30当初) ・高機能素材関連産業創出事業 (H29当初、H30当初) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・とくしま新未来雇用創造プロジェクト (H29当初、<u>H30当初</u>) ・企業立地促進事業費補助金 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) ・戦略的企業誘致強化事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初、R1.6月補正予定</u>) ・ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) ・高機能素材関連産業創出事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) ・<u>地方大学・地域産業創生事業 (H30.9月補正、H30.11月補正、R1当初)</u> ・<u>とくしまIoT・AI等ソリューション実装事業 (R1.6月補正予定)</u> ・<u>「とくしまIoTプラットフォーム」利活用モデル推進支援事業 (R1当初)</u> ・<u>AI・ロボット地域産業イノベーション推進事業 (R1.6月補正予定)</u> ・<u>クリエイティブ人材育成事業 (R1当初)</u> ・<u>クリエイティブ産業育成事業 (R1.6月補正予定)</u> ・<u>次世代“光”産業創生事業 (R1当初、R1.6月補正予定)</u> ・<u>IT人材確保支援事業 (R1.6月補正予定)</u> ・<u>農工商連携新分野進出支援事業 (R1.6月補正予定)</u> ・<u>とくしま「健幸」イノベーション創出促進事業 (R1当初)</u> 	政策 商工
17 ～ 18	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標 (KPI) の修正 (具体的な事業)を追加	<p>②企業の成長ステージに応じた切れ目のない支援 (追加)</p> <p>・ 「とくしま県産品振興戦略」に基づき、県産品の認知度向上と消費拡大、さらには世界にはばたく「とくしま県産品」を目指し、国内外に向けた情報発信を積極的に行うとともに、世界展開に当たっては、「とくしまグローバル戦略」に基づき、グローバル製品開発や海外市場での販売促進活動・人材育成など、県内企業のグローバル展開をトータルで支援する。</p> <p>主な重要業績評価指標 (KPI) ■輸出額・輸出企業数：175億円・133社 (150億円・95社)</p> <p>(具体的な事業) ・創業促進・あったかビジネス支援事業 (H29当初、H30当初) ・ものづくり産業「創造力」総合支援事業 (H29当初) ・「とくしま県産品振興戦略」推進事業 (H29当初、H30当初) ・世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業 (H29当初、H30当初) ・とくしま経営塾「平成長久館」事業 (H29当初、H30当初) ・中小企業の「稼ぐ力」サポート事業 (H29当初、H30当初) ・ものづくり企業海外展開支援事業 (H29当初、H30当初) ・「阿波藍」魅力創造発信プロジェクト (H30当初)</p> (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加)	<p>②企業の成長ステージに応じた切れ目のない支援</p> <p>・ <u>地域の社会的課題解決につながる効果的な創業を促進するため、地域に密着した新たな事業を行う者に対し、起業支援団体と連携し、事業の立ち上げや伴走支援を実施する。</u></p> <p>・ 「とくしま県産品振興戦略」に基づき、県産品の認知度向上と消費拡大、さらには世界にはばたく「とくしま県産品」を目指し、国内外に向けた情報発信を積極的に行うとともに、世界展開に当たっては、「<u>徳島県経済グローバル化対応基本方針</u>」に基づき、グローバル製品開発や海外市場での販売促進活動・人材育成など、県内企業のグローバル展開をトータルで支援する。</p> <p>主な重要業績評価指標 (KPI) ■輸出額・輸出企業数：<u>212</u>億円・133社 (150億円・95社)</p> <p>(具体的な事業) ・創業促進・あったかビジネス支援事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) ・ものづくり産業「創造力」総合支援事業 (H29当初、<u>H30当初、R1当初</u>) ・「とくしま県産品振興戦略」推進事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) ・世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) ・とくしま経営塾「平成長久館」事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初、R1.6月補正予定</u>) ・中小企業の「稼ぐ力」サポート事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) ・ものづくり企業海外展開支援事業 (H29当初、H30当初、<u>R1.6月補正予定</u>) ・「阿波藍」魅力創造発信プロジェクト (H30当初、<u>R1.6月補正予定</u>)</p> ・<u>企業応援パッケージ支援事業 (R1当初)</u> ・<u>徳島わくわく創業支援事業 (R1当初)</u> ・<u>とくしま県産品魅力発信支援事業 (R1当初、R1.6月補正予定)</u> ・<u>中小企業海外展開トータルサポート事業 (R1.6月補正予定)</u> ・<u>事業承継マッチングパワーアップ事業 (R1.6月補正予定)</u> ・<u>にし阿波・地域連携ビジネス創出支援事業 (R1当初)</u> ・<u>にし阿波型ワーケーション強化発信事業 (R1当初)</u>	商工 西部

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
18 ～ 22	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>③もうかる農林水産業の推進</p> <p>＜農業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田農業の活性化を図るため、「飼料用米」の地域内流通の構築と生産拡大や、「酒米」の生産振興、県産米の輸出による海外需要の拡大を図る「徳島・新コメ戦略」を展開する。 <p>＜林業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 県産材の生産量・消費量の拡大を図るため、川上では、本県の地形に適した主伐生産システムの構築や先進林業機械の導入に加え、新規事業体の起業を促進するための「とくしま林業機械サポートセンター」や、川下では、建築分野と連携した「木造建築学校」、県内各地での「すぎの子木育広場」の設置・活用を推進する。 <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新技術開発に向けた県内大学等との共同研究数：10件（2件） ■構造改革を実施した園芸産地における生産額：110億円（10億円） ■「農地中間管理機構」等を活用した農地集積面積（累計）：2,500ha（一） ■農水省GAPガイドライン準拠以上の認定件数：40件（14件） ■県産米輸出数量：78トン（34トン） ■「阿波尾鶏」出荷羽数：300万羽（195万羽） ■水産物出荷・流通体制施設等の整備：11施設（5施設） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大による「もうかる農業」サポート事業（H29当初、H30当初） ・明日の畜産後継者！技術向上プラスワン事業（H30当初） ・広域営農団地農道整備事業（H29当初、H30当初） ・森林基盤整備事業（H29当初、H30当初） ・水域環境保全創造事業（藻場）（H29当初、H30当初） ・とくしま海岸漂着物等地域対策推進事業（H29当初） ・農林水産物の増産や販売力強化を支える研究開発事業（H29当初、H30当初） ・農山漁村未来創造事業（H29当初、H30当初） ・森林環境保全整備事業（H29当初、H30当初） ・県単独林業生産等支援事業（H29当初、H30当初） ・林業機械サポートセンター事業（H29当初、H30当初） ・「先駆け！」とくしま水田農業対策展開事業（H29当初） ・「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業（H29当初） ・Turn Table（とくしまブランドギャラリー）魅力発信事業（H29当初、H30当初） ・「とくしまブランド推進機構」展開事業（H29当初、H30当初） ・もっと木にして子育て支援事業（H29当初、H30当初） ・新次元県産材需要拡大事業（H29当初、H30当初） ・徳島すぎブランドエージェント活動推進モデル事業（H29当初、H30当初） ・農業経営確立支援事業（H30当初） ・大きな木づかい「徳島すぎ」ブランドアップ事業（H30当初） ・コメ売り込“一粒万倍”事業（H30当初） ・戦略作物生産拡大支援事業（H30当初） ・進化する・とくしまブランド戦略事業（H30当初） ・阿波ふうど機動力発揮ブランディング事業（H30当初） 	<p>③もうかる農林水産業の推進</p> <p>＜農業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田農業の活性化を図るため、「飼料用米」の地域内流通の構築と生産拡大、<u>地球温暖化に対応した「高温耐性品種」の導入促進</u>、「酒米」の生産振興、県産米の輸出による海外需要の拡大の<u>取組み</u>を展開する。 <p>＜林業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 県産材の生産量・消費量の拡大を図るため、川上では、本県の地形に適した主伐生産システムの構築や先進林業機械の導入に加え、新規事業体の起業を促進するための「とくしま林業機械サポートセンター」や、川下では、建築分野と連携した「木造建築学校」、県内各地での「すぎの子木育広場」の設置・活用を推進するとともに、「<u>徳島県県産材利用促進条例</u>」に則り、<u>未来を担う子どもたちを中心とした幅広い世代の方々に、木材利用の意義、木材に関する知識などを知ってもらう「木育」を推進し、県産材の販路拡大や、観光、インバウンドにも資する木育拠点施設の開設に向け検討する。</u> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新技術開発に向けた大学・<u>企業</u>との共同研究数：<u>12</u>件（2件） ■<u>産地リノベーション</u>を実施した園芸産地における生産額：<u>45</u>億円（10億円） ■「農地中間管理機構」<u>を活用した</u>農地集積面積（累計）：<u>110</u>ha（一） ■農水省GAPガイドライン準拠以上の認定件数（累計）：<u>50</u>件（14件） ■県産米輸出数量：<u>83</u>トン（34トン） ■「阿波尾鶏」<u>地鶏肉</u>出荷羽数 <u>全国順位：1位（一）</u> ■水産物出荷・流通体制施設等の整備：<u>13</u>施設（5施設） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大による「もうかる農業」サポート事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・明日の畜産後継者！技術向上プラスワン事業（<u>H29当初、H30当初</u>） ・広域営農団地農道整備事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・森林基盤整備事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・水域環境保全創造事業（藻場）（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・とくしま海岸漂着物等地域対策推進事業（H29当初、<u>H30当初、RI当初</u>） ・農林水産物の増産や販売力強化を支える研究開発事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・農山漁村未来創造事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初、R1.6月補正予定</u>） ・森林環境保全整備事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・県単独林業生産等支援事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・林業機械サポートセンター事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・「先駆け！」とくしま水田農業対策展開事業（H29当初、<u>H30当初、RI当初</u>） ・「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業（H29当初、<u>H30当初、RI当初</u>） ・Turn Table（とくしまブランドギャラリー）魅力発信事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・「とくしまブランド推進機構」展開事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・もっと木にして子育て支援事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・新次元県産材需要拡大事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・徳島すぎブランドエージェント活動推進モデル事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・農業経営確立支援事業（H30当初、<u>RI当初</u>） ・大きな木づかい「徳島すぎ」ブランドアップ事業（H30当初、<u>RI当初</u>） <p>（削除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略作物生産拡大支援事業（H30当初、<u>RI当初</u>） ・進化する・とくしまブランド戦略事業（H30当初、<u>RI当初</u>） ・阿波ふうど機動力発揮ブランディング事業（H30当初、<u>RI当初</u>） 	農林西部

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		【基本目標2】地域における仕事づくり (ウ) 地域産業の飛躍を支える人づくり	【基本目標2】地域における仕事づくり (ウ) 地域産業の飛躍を支える人づくり	
29 ～ 30	(具体的な事業)を追加	①次代を支え未来を拓く産業人材の育成 ・ 科学技術の未来を切り拓く人材を育成するため、平成28年度に県内外の大学生等が、県内の高校生と一緒に学び、科学の素養を磨く、「科学技術アカデミー」を創設するとともに、県内の小中学生へ体験型の科学の出前講座などを実施する「体験型講座『科学技術』r. アカデミー」を開講する。 また、自然エネルギーや先端技術・科学、アートを体験する「スマート回廊」を創設し、小中学生の技術者・研究者に対する夢や志を育む。 ・ 地域社会の未来を創る人材を育成し、地域の資源や強みを活かした新たな産業を創出するため、高校・大学・企業が一体化した「新未来創生キャンパス(仮称)」を設置する。 (追加) (追加)	①次代を支え未来を拓く産業人材の育成 ・ 科学技術の未来を切り拓く人材を育成するため、 中高生を対象として 科学の素養を磨く「科学技術アカデミー」、 また 県内の小中学生へ体験型の科学の出前講座などを実施する「体験型講座『科学技術』r. アカデミー」を開講する。 また、自然エネルギーや先端技術・科学、アートを体験する「スマート回廊」を創設し、小中学生の技術者・研究者に対する夢や志を育む。 ・ 地域社会の未来を創る人材を育成し、地域の資源や強みを活かした新たな産業を創出するため、高校・大学・企業が一体化した「新未来創生キャンパス」を設置する。 ・ 内航船員の安定的かつ継続的な担い手確保を図るため、内航海運業の魅力幅広く発信する広報活動や県内海運業への就業活動を支援する。 ・ 国際感覚を身に付けたグローバル人材を育成するため、徳島商業高校が現地に構築した商業教育システムを活用する「カンボジアー日本友好学園」の取組みを積極的にフォローアップする。 (具体的な事業) ・ 産業人材育成プログラム事業 (H28当初) (追加) ・ 民間を活用した訓練事業 (H29当初、H30当初) ・ 産学官連携によるグローバル人材育成事業 (H30当初) ・ 「海部郡の海の幸」創出事業 (H30当初) (追加) (追加) (追加) (追加) (追加)	政策 商工 県土 教育
30 ～ 31	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標(KPI)の修正 (具体的な事業)を追加	②地域を支える産業人材の育成 ・ 高齢化の進行に伴い、今後必要となる介護サービスの提供体制を整えるため、介護職員等福祉分野における雇用の創出を行う。 (追加)	②地域を支える産業人材の育成 ・ 高齢化の進行に伴い、今後必要となる介護サービスの提供体制を整えるため、 介護人材の確保を図る。 ・ あらゆる世代の人々が、意欲・能力を活かして活躍できる社会の実現を目指し、「とくしまリカレント教育支援センター(仮称)」を設置し、県内のリカレント教育の推進を図る。 主な重要業績評価指標(KPI) ■ 介護保険サービス事業所の 介護職員処遇改善加算取得率：89% (H29：83.2%) ■ とくしまリカレント教育支援センター(仮称)の設置：R1設置(-) ■ 高等教育機関と連携して開発するリカレント教育プログラム数(累計)：8件(-) (具体的な事業) ・ 徳島版マイスター制度ステップアップ事業 (R1当初) ・ 未来をひらく「新3K・建設産業」創生事業 (R1当初、R1.6月補正予定) ・ とくしまリカレント教育推進事業 (R1.6月補正予定)	政策 保健 商工 県土

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり (ア) ライフステージに応じた切れ目ない支援の強化	【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり (ア) ライフステージに応じた切れ目ない支援の強化	
32 ～ 33	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 (具体的な事業)を追加	①若い世代の結婚の希望をかなえる ・結婚を希望する独身者に対し、結婚支援のための拠点「とくしまマリッジサポートセンター(略称:マリッサとくしま)」を設置し、お見合いやイベントの情報提供など、出逢いの場を創出するとともに、縁結びボランティアを活用した、よりきめ細やかな結婚支援を実施する。 ・独身者の結婚を応援しようとする企業・団体に「とくしまマリッジサポートセンター(略称:マリッサとくしま)」に登録いただき、「マリッサとくしま」の広報やメルマガ登録、イベント開催や情報の周知などを行ってもらうことで、社会全体での結婚支援の機運醸成を図る。 (具体的な事業) ・とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業(H30当初)	①若い世代の結婚の希望をかなえる ・結婚を希望する独身者に対し、結婚支援のための拠点「とくしまマリッジサポートセンター(略称:マリッサとくしま)」を設置し、お見合いやイベントの情報提供など、出逢いの場を創出するとともに、 <u>縁結びボランティアの活用や専門アドバイザーが個別に会員の相談に応じる個別相談会の開催など</u> 、よりきめ細やかな結婚支援を実施する。 ・独身者の結婚を応援しようとする企業・団体に「とくしまマリッジサポートセンター(略称:マリッサとくしま)」に登録いただき、「マリッサとくしま」の広報やメルマガ登録、イベント開催や情報の周知などを行ってもらうほか、 <u>協賛企業・団体間のマッチングを行う</u> ことで、社会全体での結婚支援の機運醸成を図る。 (具体的な事業) ・とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業(H30当初、 <u>RI当初、R1.6月補正予定</u>)	県民
33 ～ 34	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標(KPI)の修正 (具体的な事業)を追加	②出産・子育てを応援する ・多子世帯における経済的負担を軽減するため、18歳未満の子どもが3人以上いる世帯において、第3子以降の子どもに係る保育所、認定こども園、幼稚園及び認可外保育施設に係る保育料について、無料化に取り組む市町村を支援する。 (追加) ・小さな子どもを持つ保護者の不安軽減を図るため、「小児救急電話相談事業(#8000)」を365日、夕方から翌朝まで運用するとともに、医療情報の提供を行う。 また、平成27年度に、すぐに病院にかかる必要がある小児患者の情報を、「#8000」の電話相談から医療機関へ情報提供をするモデル事業を実施・検証するとともに、県民への周知啓発に努めるなど、「#8000」の更なる利用促進を図る。 主な重要業績評価指標(KPI) ■第3子以降の保育所・幼稚園「保育料無料化制度」の創設:H27創設(追加) ■「小児救急電話相談事業(#8000)」の認知度:80%以上(-)	②出産・子育てを応援する ・多子世帯における経済的負担を軽減するため、 <u>「3歳から5歳までの第2子」及び「第3子以降」</u> の子どもに係る保育所、認定こども園、幼稚園及び <u>「第3子以降」</u> の認可外保育施設に係る保育料について、無料化に取り組む市町村を支援する。 <u>・在宅で育児をしている家庭の負担感を軽減するため、ファミリー・サポートセンターや病児・病後児預かりなどの子育て支援サービスに利用できるクーポンを交付する市町村を支援する。また、クーポンの対象となる子育て支援サービスの提供体制を充実させるなど、サービスの基盤強化を図る。</u> ・小さな子どもを持つ保護者の不安軽減を図るため、「小児医療電話相談事業(#8000)」を365日、 <u>平日及び土曜日は夕方から翌朝まで、休日は24時間運用し、医療情報の提供を行うとともに、</u> 県民への周知啓発に <u>努め、「#8000」</u> の利用促進を図る。 主な重要業績評価指標(KPI) ■多子世帯の保育所・幼稚園「保育料無料化制度」の創設:H27創設 <u>H30拡充</u> ■ <u>「とくしま在宅育児応援クーポン」:利用率50%(-)</u> ■「小児医療電話相談事業(#8000)」の <u>相談実績:11,000件(7,927件)</u> (具体的な事業) ・阿波っ子はぐくみ保育料助成事業(H29当初、H30当初、 <u>H30.9月補正、RI当初</u>) ・子ども・子育て支援新制度推進交付金事業(H30当初、 <u>RI当初</u>) ・ <u>とくしま在宅育児応援クーポン事業(H30.9月補正、RI当初)</u> ・ <u>子育て支援サービス基盤強化事業(R1.6月補正予定)</u>	県民 保福

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
34 ～ 35	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標（KPI）の修正 （具体的な事業）を追加	③世代を超え地域で支える子育て社会の実現（追加） 主な重要業績評価指標（KPI） ■待機児童の解消：H29・0人（41人） ■放課後児童クラブの設置数：192クラブ（150クラブ） （具体的な事業） ・放課後子ども総合プラン推進事業（H29当初、H30当初） ・保育人材確保等推進事業（H29当初、H30当初） ・子ども・子育て支援新制度推進交付金事業（H29当初、H30当初） ・認定こども園整備事業費補助金（H29当初、H30当初） ・保育士修学資金等貸付事業（H29当初、H30当初） ・地域子育て総合支援交付金事業（H29当初、H30当初） ・保育提供体制緊急確保事業（H30当初） （追加）	③世代を超え地域で支える子育て社会の実現 ・ <u>保育士の業務負担の軽減や保育の質の向上を図るため、意欲ある高齢者の人材育成を行うとともに保育現場への就労を支援する「徳島県版『保育助手』制度」を創設し、アクティブシニアの保育現場での就労を支援する。</u> 主な重要業績評価指標（KPI） ■待機児童の数： <u>R1・60人（41人）</u> ■放課後児童クラブの <u>登録児童数</u> ： <u>8,100人（一）</u> （具体的な事業） ・放課後子ども総合プラン推進事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・保育人材確保等推進事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初、R1.6月補正予定</u> ） ・子ども・子育て支援新制度推進交付金事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初、R1.6月補正予定</u> ） ・認定こども園整備事業費補助金（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・保育士修学資金等貸付事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・地域子育て総合支援交付金事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・保育提供体制緊急確保事業（H30当初、 <u>R1当初、R1.6月補正予定</u> ） ・ <u>子育て支援サービス基盤強化事業（R1.6月補正予定）</u>	県民
		【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり (イ)若い世代の正規雇用のさらなる拡大	【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり (イ)若い世代の正規雇用のさらなる拡大	
35 ～ 36	主な重要業績評価指標（KPI）の修正 （具体的な事業）を追加	主な重要業績評価指標（KPI） ■とくしまジョブステーションに相談のあった求職者の就職率：40.0%（35.1%） ■若年者企業面接会等の参加者における就職内定率：27.0%（一） ■プロフェッショナル人材戦略拠点における成約件数：15件（一） （具体的な事業） ・とくしまジョブステーション運営費（H29当初、H30当初） ・未来の若い力育成・確保事業（H29当初、H30当初） ・若年者すだち（巣立ち）支援事業（H29当初、H30当初） ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業（H30当初） ・未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト（H29当初、H30当初） ・プロフェッショナル人材確保支援費（H29当初、H30当初） ・若年者早期離職対策事業（H29当初、H30当初） ・すだちくんハローワーク運営事業（H30当初） ・おかえり！とくしま支援事業（H30当初）	主な重要業績評価指標（KPI） ■ <u>「とくしまジョブステーション」及び「すだちくんハローワーク」の支援による就職率：45.0%（一）</u> ■ <u>徳島県内の地域若者サポートステーションにおける新規登録者数に対する進路決定率：54.0%（H29:45.7%）</u> ■プロフェッショナル人材戦略拠点における成約件数： <u>30件（一）</u> （具体的な事業） ・とくしまジョブステーション運営費（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・未来の若い力育成・確保事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・若年者すだち（巣立ち）支援事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業（H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・プロフェッショナル人材確保支援費（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・若年者早期離職対策事業（H29当初、H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・すだちくんハローワーク運営事業（H30当初、 <u>R1当初</u> ） ・おかえり！とくしま支援事業（H30当初、 <u>R1当初</u> ）	商工

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり (ウ) 仕事と子育てが両立する働き方の実現	【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり (ウ) 仕事と子育てが両立する働き方の実現	
37	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標（KPI）の修正 （具体的な事業）を追加	①テレワーク導入による新たな働き方の「とくしまモデル」創出 <ul style="list-style-type: none"> 県庁において、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を目指すため、平成26年度から実施しているテレワーク実証実験をさらに進化させ、「在宅勤務」や「サテライトオフィス」、「モバイルワーク」といった多様な働き方の導入を推進する。 職員の「県民目線・現場主義」を徹底し、「創造力・実行力・発信力」に優れた人材を育成するため、地方創生の最前線の現場に「新たな働き方」の実践フィールドとして「とくしま新未来『創造』オフィス」を設置し、現場の多様で多様な人材と交流・連携しながら、実践型の職員研修を実施する。 主な重要業績評価指標（KPI） ■子育てや介護を支援する 「県庁・在宅勤務制度」の導入：H27実証実験開始（H30本格導入） （具体的な事業） ・働き輝く！とくしまづくり応援事業（H29当初、H30当初） ・徳島ならではの働き方改革推進事業（H29当初、H30当初） ・柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業（H30当初） （追加）	①テレワーク導入による新たな働き方の「とくしまモデル」創出 <ul style="list-style-type: none"> 県庁において、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を目指すため、「在宅勤務」や「サテライトオフィス」、「モバイルワーク」といったテレワークにより、多様な働き方を推進する。 職員の「県民目線・現場主義」を徹底し、「創造力・実行力・発信力」に優れた人材を育成するため、地方創生の最前線の現場である「とくしま新未来『創造』オフィス」において、現場の多様で多様な人材と交流・連携しながら、実践型の職員研修を実施する。 主な重要業績評価指標（KPI） （ 削除 ） （具体的な事業） ・働き輝く！とくしまづくり応援事業（H29当初、H30当初、 R1当初 ） ・徳島ならではの働き方改革推進事業（H29当初、H30当初、 R1当初 ） ・柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業（H30当初、 R1当初 ） ・ にし阿波型ワーケーション強化発信事業（R1当初）	経営 商工 西部
37 ～ 38	主な重要業績評価指標（KPI）の修正 （具体的な事業）を追加	②子育てしやすい職場環境づくり 主な重要業績評価指標（KPI） ■「はぐくみ支援企業」認証事業所数：270事業所（177事業所） （具体的な事業） ・「働くパパママ」就業促進事業（H29当初、H30当初） ・子育てパパ・ママサポート事業（H30当初） ・企業主導型事業所内保育施設開設サポート事業（H30当初）	②子育てしやすい職場環境づくり 主な重要業績評価指標（KPI） ■「はぐくみ支援企業」認証事業所数： 285 事業所（177事業所） （具体的な事業） ・「働くパパママ」就業促進事業（H29当初、H30当初、 R1当初 ） ・子育てパパ・ママサポート事業（H30当初、 R1当初 ） ・企業主導型事業所内保育施設開設サポート事業（H30当初、 R1当初 ）	県民 商工

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり	【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり	
39	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正	<p>《基本的方向》</p> <p>○ 「日本の創成」につながる「課題解決先進県・徳島」からの処方箋として、「知恵は地方にあり！」を具現化する政策提言を実施する。</p>	<p>《基本的方向》</p> <p>○ <u>徳島発の提言が未知の世界を切り拓く「全国モデル」として、国の施策に反映され、「地方創生」から「日本創生」へと繋がるよう、積極的な政策提言を実施する。</u></p>	政策
		【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (ア) 課題解決先進地域づくりの加速	【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (ア) 課題解決先進地域づくりの加速	
39 ～ 40	主な重要業績評価指標（KPI）の修正 (具体的な事業)を追加	<p>①市町村の課題解決支援</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <p>■ 地方創生につながる取組みの創出事例数（5か年の累計）：69事例（－）</p> <p>(追加)</p>	<p>①市町村の課題解決支援</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <p>■ 地方創生につながる取組みの創出事例数（5か年の累計）：<u>78</u>事例（－）</p> <p>(具体的な事業)</p> <p>・ <u>未知への挑戦！「とくしま回帰」交付金（R1.6月補正予定）</u></p>	政策
40 ～ 41	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標（KPI）の修正 (具体的な事業)を追加	<p>②「知恵は地方にあり」の具現化</p> <p>・ 徳島発の政策提言が「課題解決先進県・徳島」からの実効性のある「処方箋」として、「地方創生」から「日本創成」へとつながるよう、国への積極的な政策提言を実施する。</p> <p>(追加)</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <p>■ 地方創生に関する「政策提言」の実現比率：80%（－）</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p>	<p>②「知恵は地方にあり」の具現化</p> <p>・ <u>徳島発の提言が未知の世界を切り拓く「全国モデル」として、国の施策に反映され、「地方創生」から「日本創生」へと繋がるよう、積極的な政策提言を実施する。</u></p> <p>・ <u>人口減少・少子高齢化等により危機を迎える「2030年」における県・市町村の「自治体行政のあり方」、「スマート自治体への転換」及び「新たな公私」相互間の協力関係の構築など持続可能な自治体構想を描くとともに、現行の過疎法に続く「新過疎法」の制定に向け、内過疎地域の現状と課題の分析を行い、ちいさの実情に即した効果的な振興策や支援のあり方等を検討・研究し、国に対して政策提言を実施する。</u></p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <p>■ 地方創生に関する「政策提言」の実現比率：<u>70%以上</u>（－）</p> <p>(具体的な事業)</p> <p>・ <u>自治体戦略2030構想・過疎対策研究事業（R1.6月補正予定）</u></p>	政策
		【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (イ) 多様な人材が輝く地域づくりの加速	【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (イ) 多様な人材が輝く地域づくりの加速	
41 ～ 42	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標（KPI）の修正 (具体的な事業)を追加	<p>①女性の活躍を加速</p> <p>・ 地域社会の様々な分野における女性の参画、女性活躍推進をさらに加速し、「女性の視点・感性」を活かした地域社会の活性化を図るため、「ともに輝くフェスティバル」や、住民参加型イベントの開催をはじめとした「女性活躍パワーアップ作戦」を推進する。</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <p>■ 「女性活躍パワーアップ作戦」イベント・講座による実践的活動への参加意欲向上度：80%（－）</p> <p>(追加)</p> <p>■ 女性の再就職や就労を支援する講座等における就業率：24%（－）</p> <p>■ 女性の創業に対する事業計画等の支援件数（年間）：10件（－）</p> <p>(具体的な事業)</p> <p>・ 女性の創業ステップアップ支援事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 女性の「はたらく力」ステップアップ事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 次代を担う農業人材・経営体育成事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 「森林女子」就業推進モデル事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 女性が変わる未来の農山漁村づくり事業（H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p>	<p>①女性の活躍を加速</p> <p>・ <u>少子高齢化が急速に進行し、本格的な人口減少社会を迎える中、豊かで活力のある社会を築いていくため、「ときわプラザ（男女共同参画交流センター）」を核として、「男女共同参画啓発フェスティバル」をはじめとしたイベント・講座の開催等により、女性活躍の取組を推進するとともに、次世代を担う人材の育成を図る。</u></p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <p>■ 「フレアキャンパス受講」による実践的活動への参加意欲向上度：80%（－）</p> <p>■ <u>「とくしまフューチャーアカデミー」修了者数（累計）：40人（－）</u></p> <p>■ 女性の再就職や就労を支援する講座等における就業率：<u>45%（－）</u></p> <p>■ 女性の創業に対する事業計画等の支援件数（年間）：<u>18</u>件（－）</p> <p>(具体的な事業)</p> <p>・ 女性の創業ステップアップ支援事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 女性の「はたらく力」ステップアップ事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 次代を担う農業人材・経営体育成事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 「森林女子」就業推進モデル事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ 女性が変わる未来の農山漁村づくり事業（H30当初、<u>R1当初</u>）</p> <p>・ <u>女性活躍ステージアップ事業（R1.6月補正予定）</u></p> <p>・ <u>ウーマンビジネススクール推進強化事業（R1当初）</u></p>	商工 農林

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
42 ～ 43	<p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>②元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「徳島県版『介護助手』制度」モデル事業による「介護助手」の雇用者数（累計）：130人（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（H29当初、H30当初） ・いきいきシニア活動促進事業（H29当初、H30当初） ・シルバー人材センター機能強化促進事業（H29当初、H30当初） ・アクティブ・シニア生涯活躍促進事業（H29当初、H30当初） <p>（追加）</p>	<p>②元気な高齢者が活躍する「生涯現役社会」の実現</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■モデル事業による「介護助手」雇用施設数（累計）： <u>50施設（H29：12施設）</u> <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・いきいきシニア活動促進事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・シルバー人材センター機能強化促進事業（H29当初、H30当初、<u>RI.6月補正予定</u>） ・アクティブ・シニア生涯活躍促進事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・<u>アクティブ・シニア生涯活躍加速化事業（RI.6月補正予定）</u> 	保福 商工
43 ～ 45	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>③若者の自己実現を応援</p> <p>・ 県立高校において、「地域経済分析システム（RESAS）」のデータなどを活用し、「地域交流」や「地方創生」などの分野で、大学及び企業や研究機関等と連携して実施した取組みの成果を全国へ発信する「スーパーオンリーワンハイスクール事業」によって、学校の魅力や個性を生かした取組みを支援する。</p> <p>・ 文化芸術を担う人材を育成するため、文化芸術教育の拠点となる「文化芸術リーディングハイスクール」において、プロの芸術家や芸術系大学教員等による定期的な講習会を実施するなど、芸術を学ぶ生徒の技術力の向上を図る。</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高校生の留学（疑似留学体験、海外語学研修を含む）者数：320人（106人） ■中学生の留学、英語体験宿泊活動の年間参加者数：130人（42人） ■「ALTと徳島を学ぶデイキャンプ」の小学生参加者数（5か年の累計）：580人（69人） ■全国高等学校総合体育大会の入賞（団体・個人）数：22団体・個人（11団体・個人） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーオンリーワンハイスクール事業（H29当初、H30当初） ・輝け高校生！文化芸術創造・発信事業（H29当初、H30当初） ・羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業（H29当初、H30当初） ・「とくしま狩猟マスター」への道プロジェクト事業（H30当初） ・野生鳥獣シカル消費推進ネットワーク構築事業（H30当初） <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p>	<p>③若者の自己実現を応援</p> <p>・ 県立高校において、「地域交流」や「地方創生」などの分野で、大学及び企業や研究機関等と連携して実施した徳島ならではの取組みの成果を全国・世界へ発信する「スーパーオンリーワンハイスクール事業」によって、学校の魅力や個性を生かした取組みを支援する。</p> <p>・ 文化芸術を担う人材を育成するため、文化芸術教育の拠点となる「文化芸術リーディングハイスクール」において、<u>県内外で活躍する徳島ゆかりの</u>芸術家や芸術系大学教員等による定期的な講習会を実施するなど、芸術を学ぶ生徒の技術力の向上を図る。</p> <p>・ <u>優秀な中学生を継続して育成するため、中・高の連携を密にし、トップスポニツ校において合同練習会を実施する。</u></p> <p>・ <u>高校生が世の中に主体的に関わろうとする意欲、態度を育成するため、大学教員による「主権者意識を高める教育の充実のための出前講座」、学校や地域の課題をディスカッションし、行政に提案する「高校生リーダー交流集会」など、主権者教育の充実を図る。</u></p> <p>・ <u>安全・安心な地域社会づくりの担い手を育成するため、地域での啓発活動を積極的に実施する学校を支援する「高校生消費生活啓発リーダー育成事業」や、高校生が消費生活に関する専門的な知識を深く学ぶ「ジュニア消費生活アドバイザー養成講座」などを実施する。</u></p> <p>・ <u>年間を通じた継続的プログラムで意欲・学力向上を目指す「ネクスト・リーダー育成プログラム」ど、多様なプログラムで「突出」したサイエンティストの発掘・育成を目指す「サイエンス・スペシャリスト育成プログラム」により、未来の徳島を牽引するトップリーダーの育成を図る。</u></p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高校生の留学（疑似留学体験、海外語学研修を含む）者数（<u>7日以上</u>）：180人（－） ■中学生の留学、英語体験宿泊活動の年間参加者数（累計）：<u>270人（－）</u> ■<u>小学生の英語体験活動の年間参加者数（累計）：590人（－）</u> <p>■全国高等学校総合体育大会等の入賞（団体・個人）数：<u>50</u>団体・個人（－）</p> <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーオンリーワンハイスクール事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初、RI.6月補正予定</u>） ・輝け高校生！文化芸術創造・発信事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初、RI.6月補正予定</u>） ・羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業（H29当初、H30当初、<u>RI.6月補正予定</u>） ・「とくしま狩猟マスター」への道プロジェクト事業（H30当初、<u>RI当初</u>） ・野生鳥獣シカル消費推進ネットワーク構築事業（H30当初、<u>RI当初</u>） ・<u>夢を実現！若者未来創生事業（RI.6月補正予定）</u> ・<u>18歳！新成人への学びプログラム事業（RI当初、RI.6月補正予定）</u> ・<u>新未来創造・高校生育成プロジェクト（RI当初、RI.6月補正予定）</u> ・<u>Tokushima 英語村プロジェクト エンジョイ！コミュニケーション事業（RI当初、RI.6月補正予定）</u> 	県民 教育

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
45 ～ 46	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>④ 障がい者が支える社会へ</p> <p>・ 中山間地域の耕作放棄地対策や障がい者の生きがいがづくりを推進するため、地元企業等と連携して、障がい者が農作物の作付けを行う「チャレンジドファーム」の実践・拡大を図り、地場産業の育成や障がい者の農業就労を促進するとともに、地域住民や社会福祉法人など地域の人材を活用し、高齢農業者が安心して営農できる新たな「農産物集出荷システムモデル」の構築に向けた支援を行う。 加えて、販路開拓や障がい者就労支援施設と農業者等とのマッチング等を推進するため、官民が連携し、新たに設置した「農福連携推進検討会」において、推進施策などの検討を行う。</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■障がい者マイスター認定者数（累計）：19人（－） ■「チャレンジドファーム」における障がい者就労者数：20人（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者マイスター認定制度（H29当初、H30当初） ・障がい者雇用促進強化事業（H29当初、H30当初） ・職場適応訓練補助事業（H29当初、H30当初） ・障がい者スポーツ振興事業（H30当初） ・障がい者雇用継続よりそい支援事業（H30当初） ・農福連携による障がい者の就農促進事業（H29当初、H30当初） <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p>	<p>④ 障がい者が支える社会へ</p> <p>・ 中山間地域の耕作放棄地対策や障がい者の生きがいがづくりを推進するため、地元企業等と連携して、障がい者が農作物の作付けを行う「チャレンジドファーム」の実践・拡大を図り、地場産業の育成や障がい者の農業就労を<u>促進する</u>。 加えて、販路開拓や障がい者就労支援施設と農業者等とのマッチング等を推進するため、官民が連携し、新たに設置した「農福連携推進検討会」において、推進施策などの検討を行う。</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■障がい者マイスター認定者数（累計）：<u>20</u>人（－） ■「<u>にし阿波型</u>チャレンジドファーム」における障がい者就労者数：<u>25</u>人（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者マイスター認定制度（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・障がい者雇用促進強化事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・職場適応訓練補助事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・障がい者スポーツ振興事業（H30当初、<u>RI当初</u>） ・障がい者雇用継続よりそい支援事業（H30当初、<u>RI当初</u>） ・農福連携による障がい者の就農促進事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・<u>発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業（RI当初、RI.6月補正予定）</u> ・<u>にし阿波型チャレンジドファーム拡大事業（RI当初）</u> ・<u>次世代パラアスリート発掘・育成事業（RI.6月補正予定）</u> ・<u>障がい者スポーツ交流支援事業（RI.6月補正予定）</u> ・<u>とくしま農福連携ネットワーク加速化事業（RI.6月補正予定）</u> 	商工 西部 教育
46 ～ 47	<p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>⑤ 外国人も住みやすい多文化共生のまちづくり</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■とくしま外国人支援ネットワーク会員数：360人（162人） ■定住外国人の就労を支援する講座等における就職率：24%（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人にやさしい徳島づくり推進事業（H29当初、H30当初） ・とくしま国際戦略センター推進費（H29当初、H30当初） ・国際交流・協力ボランティア普及事業（H29当初、H30当初） <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p>	<p>⑤ 外国人も住みやすい多文化共生のまちづくり</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■とくしま外国人支援<u>ボランティア登録者数</u>：360人（162人） ■定住外国人の就労を支援する講座等における<u>就業率</u>：<u>28%</u>（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人にやさしい徳島づくり推進事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・とくしま国際戦略センター推進費（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・国際交流・協力ボランティア普及事業（H29当初、H30当初、<u>RI当初</u>） ・<u>働くなら徳島で！外国人就労支援事業（RI当初）</u> ・<u>地域とつながり！在住外国人支援事業（RI当初）</u> ・<u>とくしま丸ごとA I コンシェルジュ(仮称)事業（RI.6月補正予定）</u> 	商工 監察

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
		【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (ウ)時代に合ったふるさとづくりの加速	【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (ウ)時代に合ったふるさとづくりの加速	
47 ～48	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標（KPI）の修正 （具体的な事業）を追加	①多世代交流・多機能型拠点の形成 ・中山間地域等において、生活・福祉サービスを一定のエリア内に集め、「ワンストップ型福祉拠点」（多世代交流・多機能型）を形成した持続可能な地域づくりを推進するため、市町村における多世代交流・多機能型福祉施設の整備促進を図る。 主な重要業績評価指標（KPI） ■「ワンストップ型福祉拠点」整備箇所数（累計）： 県下全6圏域（H30完了）（一） （具体的な事業） ・ユニバーサルカフェ整備推進モデル事業（H29当初、H30当初） ・「とくしま回帰」住宅対策総合推進事業（H29当初、H30当初） ・ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業（H30当初） （追加）	①多世代交流・多機能型拠点の形成 ・ <u>県内各地において、地域の絆を深め、地域で支え合う環境の充実を図るため、子どもや高齢者、障がい者などが集う「ユニバーサルカフェ（多世代交流・多機能型）」の普及促進を図る。</u> 主な重要業績評価指標（KPI） ■ <u>「ユニバーサルカフェ（多世代交流・多機能型）」</u> <u>認定箇所数（累計）：14箇所（一）</u> （具体的な事業） ・ユニバーサルカフェ整備推進モデル事業（H29当初、H30当初、 <u>RI当初</u> ） ・「とくしま回帰」住宅対策総合推進事業（H29当初、H30当初、 <u>RI当初</u> ） ・ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業（H30当初、 <u>RI当初</u> ） ・ <u>県庁ふれあいセンター「すだちくんテラス」パワーアップ事業（RI当初）</u>	保福 監察 教育
48		②持続可能なまちづくりの推進 （修正無）	②持続可能なまちづくりの推進	
48 ～49	状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正 主な重要業績評価指標（KPI）の修正 （具体的な事業）を追加	③ネットワーク強化による地域の連携 ・地域の交通ネットワークを形成するため、新たなバス路線の開設等に係る調査や民間事業者に対する補助等を行う市町村に対し支援を行うとともに、利便性向上、利用促進を図る取組みを推進し、地域の実状に応じた公共交通体系の確立を促進する。 主な重要業績評価指標（KPI） ■農山漁村（ふるさと）協働パートナーの 協定数（5か年の累計）：60協定（39協定） ■新たな小中一貫教育などに関する取組み実施地域数：9地域（2地域） （具体的な事業） ・人口減少社会に対応した小中一貫教育推進事業（H29当初、H30当初） ・とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業（H29当初、H30当初） ・あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業（H29当初、H30当初） ・DMV導入促進事業（H29当初、H30当初） ・DMVわくわくイベント（H29当初、H30当初） （追加） （追加） （追加） （追加） （追加）	③ネットワーク強化による地域の連携 ・ <u>地域の交通ネットワークの将来構想を示す、次世代地域公共交通ビジョンの策定を進めるとともに、利便性向上、利用促進を図る取組み等を推進し、地域の実情に応じた公共交通体系の確立を促進する。</u> 主な重要業績評価指標（KPI） ■農山漁村（ふるさと）協働パートナーの 協定数（5か年の累計）： <u>69</u> 協定（39協定） ■新たな小中一貫教育などに関する取組み実施地域数： <u>10</u> 地域（2地域） （具体的な事業） ・人口減少社会に対応した小中一貫教育推進事業（H29当初、H30当初、 <u>RI当初</u> ） ・とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業（H29当初、H30当初、 <u>RI当初</u> ） ・あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業（H29当初、H30当初、 <u>RI当初</u> ） ・DMV導入促進事業（H29当初、H30当初、 <u>RI当初</u> ） ・DMVわくわくイベント（H29当初、H30当初、 <u>RI当初</u> 、 <u>RI.6月補正予定</u> ） ・ <u>集落再生「とくしまモデル」魅力発信事業（RI当初）</u> ・ <u>未知への挑戦！「とくしま回帰」交付金（RI.6月補正予定）</u> ・ <u>中山間ふるさと・水と土保全対策事業（H29当初、H30当初、RI当初）</u> ・ <u>縁から絆へ！絆応援し隊事業（RI.6月補正予定）</u> ・ <u>次世代地域公共交通ビジョン実装事業（RI当初、RI.6月補正予定）</u>	政策 農林 県土 教育

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
49 ～ 51	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p style="text-align: center;">(具体的な事業)を追加</p>	<p>④誇りと愛着を育むふるさとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方創生の担い手としてNPO法人等の経済的な自立を促進するため、資金調達やソーシャルビジネス、マネジメントのノウハウを備えた人材を育成する。 また、NPO法人等の「地域ネットワーク」や「分野ネットワーク」の強化を支援し、お互いの強みを活かして相乗効果を発揮することにより、地域課題や分野課題の解決を図る。 <p style="text-align: center;">(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「橋の博物館」世界に橋らせPR事業 (H29当初、H30当初) (追加) (追加) (追加) 	<p>④誇りと愛着を育むふるさとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>NPO・ボランティア活動の更なる充実を図るため、県民の社会貢献活動に対する機運を醸成するとともに</u>、NPO法人等の経済的な自立を促進するため、資金調達やソーシャルビジネス、マネジメントのノウハウを備えた人材を育成する。 また、NPO法人等の「地域ネットワーク」や「分野ネットワーク」の強化を支援し、お互いの強みを活かして相乗効果を発揮することにより、地域課題や分野課題の解決を図る。 <p style="text-align: center;">(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「橋の博物館」世界に橋らせPR事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) <u>・とくしま共助支援プロジェクト (R1.6月補正予定)</u> <u>・新たな出会いSPOTの創出事業 (R1.6月補正予定)</u> <u>・次代へつなぐ！剣山ファン拡大事業 (R1当初)</u> 	県民 県土 西部
		【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (工) 安心して暮らせる地域づくりの加速	【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり (工) 安心して暮らせる地域づくりの加速	
51	<p>主な重要業績評価指標 (KPI) の修正</p> <p style="text-align: center;">(具体的な事業)を追加</p>	<p>①健康で心豊かな暮らしの充実</p> <p>主な重要業績評価指標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平均寿命と健康寿命の差の縮小：男 9.54、女 13.48 より縮小 (対 H22 年比) (追加) <p style="text-align: center;">(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職員養成確保事業 (H29当初、H30当初) 	<p>①健康で心豊かな暮らしの充実</p> <p>主な重要業績評価指標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健康寿命の<u>延伸</u>：男性 <u>69.85 歳</u>、女性 <u>73.44 歳</u> より<u>延伸</u> ■スマホアプリ活用「健康ポイント」：<u>R1創設</u> <p style="text-align: center;">(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職員養成確保事業 (H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>) 	保福
52 ～ 53	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p>主な重要業績評価指標 (KPI) の修正</p> <p style="text-align: center;">(具体的な事業)を追加</p>	<p>②くらし安心の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品衛生管理の国際基準である「HACCP」の県下と畜場、食鳥処理場をはじめとする食品関係営業施設への導入を支援するとともに、基準適合施設について「徳島県食の安全安心推進条例」に規定された「徳島版 HACCP 認証制度」に基づき認証を推進することにより、阿波牛や阿波尾鶏など県産食品の安全・安心ブランドを確立し、国内競争力の強化と輸出促進を図る。 <p>主な重要業績評価指標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食品表示責任者等講習受講者数 (累計)：2,050 人 (－) ■徳島県 HACCP 認証施設数 (累計)：22 件 (－) (追加) <p style="text-align: center;">(具体的な事業)</p> <p>(追加)</p>	<p>②くらし安心の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品衛生管理の国際基準である「HACCP」の県下と畜場、食鳥処理場をはじめとする食品関係営業施設への導入を支援するとともに、基準適合施設について「徳島県食の安全安心推進条例」に規定された「徳島<u>県</u>HACCP 認証制度」に基づき認証を推進することにより、阿波牛や阿波尾鶏など県産食品の安全・安心ブランドを確立し、国内競争力の強化と輸出促進を図る。 <p>主な重要業績評価指標 (KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食品表示責任者等講習受講者数 (累計)：<u>2,300 人 (－)</u> ■徳島県 HACCP 認証施設数 (累計)：<u>45 件 (－)</u> ■指名検査員数：<u>1 人 (－)</u> <p style="text-align: center;">(具体的な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・次世代食肉衛生事業 (R1当初)</u> 	危機

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修正前	修正後	部局
53 ～ 54	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>③地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るため、少年消防クラブや女性団員、若手団員の育成、様々な地域防災の担い手等との連携・指導、救助や災害対応等のニーズに対応する取組みなど、「頑張る」消防団の活動を支援する。 <p>（追加）</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「地域SNS」登録グループ数：1,250グループ（－） ■防災士新規取得者数：人口10万人当たり全国5位以内（H30達成）（全国10位）30歳未満の人口10万人当たり75人（H30達成）（－） ■高校生防災士の養成数（累計）：600人（－） ■「快適避難所運営リーダーカード」交付者数（H30累計）：150人（－） ■「DPAT」の体制整備：19チーム（－） <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（具体的な事業）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p> <p>（追加）</p>	<p>③地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団を中核とした、地域防災力の充実強化を図るため、<u>消防団員の確保と、多様な人材の活用による消防団活動の裾野を広げるため、学生、女性、消防団OBなどによる機能別団員制度の導入を市町村に働きかける。</u> 消防団協力事業所の顕彰や、「消防団応援の店」の登録を積極的に推進し、消防団を応援する地域づくりを推進する。 <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「地域SNS」登録グループ数：<u>1,350</u>グループ（－） ■防災士新規取得者数：人口10万人当たり <u>全国4位以内</u>（全国10位） （削除） ■<u>中学・高校生</u>防災士の養成数（累計）：600人（－） ■「快適避難所運営リーダーカード」交付者数（<u>累計</u>）：<u>280</u>人（－） ■「DPAT」<u>資質向上のための研修会の開催</u>：2回（H29:2回） ■「<u>消防団協力事業所表示制度</u>」の導入市町村数：<u>21</u>市町村（16市町村） ■「<u>消防団応援の店</u>」の登録店数（<u>累計</u>）：<u>150</u>店（－） ■「<u>機能別団員制度</u>」の導入市町村数：<u>8</u>市町村（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>快適避難所運営リーダー養成事業（H29当初）</u> ・<u>住民主体の「災害関連死ゼロ！」対策推進事業（H30当初、R1当初）</u> ・<u>地域連携・快適避難所運営モデル事業（H29当初、H30当初）</u> ・<u>地域防災活性化「防災リーダー」育成強化事業（R1当初）</u> ・<u>地域を守る「消防団」活性化推進事業（R1当初）</u> 	危機
54 ～ 55	<p>状況変化や施策・事業の進捗等を踏まえた内容に修正</p> <p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>④徳島発！「脱炭素社会」づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「脱炭素社会の実現」のため全国に先駆けて制定した「脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例」（以下、「条例」という。）の具現化を図るため、「県民総活躍」により、地球環境に優しいライフスタイルへの転換をはじめとする「脱炭素社会」づくりに向けた社会的機運の醸成を進める。 事業者や団体等と県が緊密な連携を図り、それぞれの事業や活動に応じた環境活動を推進するため「エコパートナー協定」の締結を推進するとともに、温室効果ガス削減に熱心に取り組む事業者等の環境意識の更なる高揚と取組みの一層の促進を図るために、「気候変動アワード」制度を創設する。 <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「とくしまエコパートナー」の協定締結企業数（累計）：10企業（－） ■「気候変動アワード」の表彰数（累計）：5件（－） ■徳島版ロールモデルの発表数（累計）：5件（－） <p>（具体的な事業）</p> <p>（追加）</p>	<p>④徳島発！「脱炭素社会」づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「脱炭素社会の実現」のため全国に先駆けて制定した「脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例」（以下、「条例」という。）<u>に基づき、「緩和策」と「適応策」を両輪とした気候変動対策を推進する。</u> 事業者や団体等と県が緊密な連携を図り、それぞれの事業や活動に応じた環境活動を推進するため「エコパートナー協定」の締結を推進するとともに、<u>「気候変動アワード」制度において温室効果ガス削減に熱心に取り組む事業者を顕彰することにより、環境意識の更なる高揚と取組みの一層の促進を図る。</u> <p>主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「とくしまエコパートナー」の協定締結企業数（累計）：<u>15</u>企業・<u>団体</u>（－） ■「気候変動アワード」の表彰数（累計）：<u>7</u>件（－） ■徳島版ロールモデルの発表数（累計）：<u>7</u>件（－） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「<u>緩和策</u>」「<u>適応策</u>」で進める気候変動対策推進事業（R16月補正予定） 	県民

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」本体における修正箇所一覧

頁	修正の理由等	修 正 前	修 正 後	部局
55 ～ 56	<p>主な重要業績評価指標（KPI）の修正</p> <p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>⑤ エネルギーの地産地消と未来エネルギーの導入 主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 川口ダム自然エネルギーミュージアムの設置：H28 設置（－） （追加） <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素型設備」整備補助金（H29当初、H30当初） ・燃料電池自動車導入支援事業（H29当初、H30当） （追加） 	<p>⑤ エネルギーの地産地消と未来エネルギーの導入 主な重要業績評価指標（KPI）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>自立・分散型エネルギーの普及拡大：R1小水力発電所の整備（－）</u> ■ <u>自然エネルギー地産地消モデルの普及促進：</u> <u>R1ピコ水力発電機の実証実験（2箇所）実施（－）</u> <p>（具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素型設備」整備補助金（H29当初、H30当初、<u>R1.6月補正</u>） ・燃料電池自動車導入支援事業（H29当初、H30当初、<u>R1.6月補正</u>） ・<u>水素エネルギー「社会実装」推進事業（R1.6月補正予定）</u> 	企業
56 ～ 57	<p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>⑥ 既存ストック活用先進県の新展開 （具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察施設長寿命化推進事業（H29当初、H30当初） ・「とくしま回帰」住宅対策総合推進事業（H29当初、H30当初） ・徳島県 PPP/PFI プラットフォーム事業（H30当初） 	<p>⑥ 既存ストック活用先進県の新展開 （具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察施設長寿命化推進事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>） ・「とくしま回帰」住宅対策総合推進事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初</u>） ・徳島県 PPP/PFI プラットフォーム事業（H30当初、<u>R1当初</u>） 	経営 警察
		<p>【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり （オ）地域間連携の進化</p>	<p>【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり （オ）地域間連携の進化</p>	
57		<p>① 関西広域連合等における広域課題の解決</p> <p>（修正無）</p>	<p>① 関西広域連合等における広域課題の解決</p>	
57	<p>（具体的な事業）を追加</p>	<p>② 「四国新幹線」実現によるリダンダンシーの確保 （具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“次世代への架け橋”四国新幹線導入促進事業（H29当初、H30当初） 	<p>② 「四国新幹線」実現によるリダンダンシーの確保 （具体的な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“次世代への架け橋”四国新幹線導入促進事業（H29当初、H30当初、<u>R1当初、R1.6月補正予定</u>） 	県土